

本学の教育研究組織改革構想が「平成26年度国立大学改革強化推進事業」に選定

1. 概要

本学の教育研究組織改革構想（生物資源産業学部（仮称）の新設、工学部を理工学部へ改組、総合科学部を社会科学系の学部へ改組）が、国立大学改革を強化推進することを目的とする文部科学省の補助金「平成26年度国立大学改革強化推進事業」に選定された。

2. 内容

選定された事業の概要

【事業名】

産業競争力を強化する人材育成事業

～全学的な組織改革による「生命系・理工系」の教育研究機能強化～

【取組概要】

産業競争力強化と生命系・理工系分野の機能強化を図るため、学内資源の再配分及び自治体等との連携を通じ、ヘルス、フード、アグリとバイオを融合し、生物資源を活用した産業創出人材を養成する「生物資源産業学部（仮称）」を設置。同時に、工学部を「理工学部」へ改組（学士・修士6年一貫コース設置）し、理工系人材の育成を強化。

本学では、平成28年度に、生物資源産業学部（仮称）の新設、工学部を理工学部へ改組、総合科学部を社会科学系の学部への改組等を予定しているが、学部の新設・改組には、大学設置審議会の審査を受ける必要があり、現在、その準備を進めているところである。

このたびの補助金の採択により、新学部等に必要な教員の雇用や教育研究設備を整備することができるため、設置に向けての準備を一層進捗させることができると考えている。

なお、この補助金は、本学を含め全国で11大学が選定されていますが、その詳細については文部科学省のホームページを参照ください。

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/11/1353466.htm

お問い合わせ先

部局名 総務部大学改革推進室

責任者 大学改革推進室長 松江 重文

電話番号 088-656-8018

メールアドレス

univreform.m@tokushima-u.ac.jp

産業競争力を強化する人材育成事業

～ 全学的な組織改革による「生命系・理工系」の教育研究機能強化 ～

産業競争力強化に向け、生物資源を活用した産業を創出できる人材育成（生物資源産業学部）、イノベーションを担う理工系人材の育成（理工学部）、グローバルな視点を持って活躍するリーダーを育成するための全学的な組織改革

●ヘルス、フード、アグリとバイオ融合型産業を創生する人材の育成

- 工学部生物工学科と全学から生物資源系教員を移籍
- 生物資源産業学部の教育研究力強化のために県等から人材を雇用

生物資源産業学部の設置（平成28年度）

新産業の創出

生物資源産業学科

- 応用生命コース
(ヘルスサイエンス)
- 食料科学コース
(フードサイエンス)
- 生物生産システムコース
(アグリサイエンス)

バイオロジ

新しい人材育成モデルの創出

- 新しいAO入試や地域枠の導入などの入試改革
- 交流協定締結校との連携による海外インターンシップ、農場や企業での長期インターンシップなど特色あるカリキュラム
- ビジネスマインドの育成

学内リソース

総・医・歯・薬・工学部、
酵素、ゲノム、農工商連携センター

自治体

県立農業大学校、県立農林
水産総合技術支援センター等

企業等

寄附講座（大塚製薬工場）
日亜化学、四国化工機等

生物資源
産業学部



- 医療用ミニブタの開発・実用化
- 漢方薬製造のための薬用植物の栽培
- 自然食品からの治療薬及び健康食品の開発
- 木質バイオマスエネルギーの開発・実用化

●イノベーションを担う理工系人材の育成

工学部教員（生物工学科を除く）と総合科学部の理系教員を再配置

理工学部の設置（平成28年度）

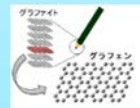
7学科

1学科・6コース
6年一貫教育体制

- STEM（Science, Technology, Engineering and Mathematics）教育の導入
- データサイエンティスト（ビッグデータ解析）人材育成
- 大学院における理工融合クラスター教育
- 先端理工学研究センターの設置（日亜化学からの寄附講座等）
- 創成学習センター（PBL教育の実施）
- 海外からの研究ユニット招致（順次招致）
 - 台湾科技大学：材料科学
 - マラッカ技術大学：技術移転・起業
 - マレーシア国民大学：理工学部を有するマレーシア国内ランキング1位

産業競争力の強化

- 新素材グラフェン（新ナノ機能材料）
- 空飛ぶ作業ロボット、農作業ロボット
- 先端LED（ナノLED）



●ガバナンス改革

- 教員人事委員会の設置
 - 学内リソースの再配置
- 学長による学部長の選考
- 研究体制の強化
- 年俸制の導入
 - 承継内教員の20.8%

●世界レベルの研究拠点の形成とグローバル研究人材の育成

疾患酵素学研究センター、疾患プロテオゲノム研究センター、藤井節郎記念医科学センターを有機的に統合

先端酵素学研究所の設置（平成28年度）

先端酵素学研究所

- 研究部門（4部門）
- 藤井節郎記念医科学センター
- 国際研究者ユニット
（海外研究者招聘、国際共同研究、高度研究人材のリクルート）



医学部
歯学部
薬学部
大学院
大学病院

●全学基幹教養教育実施体制の整備

- 全学部・センターから教養教育を担う教員を集結
- 医療系基盤教育・イノベーション教育の実施
- 外部から教授法担当教員及び外国人教員を招聘

教養教育院の設置（平成28年度）

➢責任部局としてディプロマポリシーに沿った教養教育を全学的に展開

●文系総合科学部への転換

総合科学部の改組（平成28年度）

3学科・7コース

1学科・4コース

➢グローバル、心理・健康、地域再生人材養成